



2010年3月17日

中野区長 田中大輔 様

社団法人 日本建築家協会 (JIA)

関東甲信越支部 支部長 伊平 則夫

同 保存問題委員会 委員長 和田 昇三

同 中野地域会 代表 小西 敏正



野方配水塔の文化財登録について

謹啓 時下 ますます ご清祥のことと お慶び申し上げます。

日頃は当協会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げる次第です。

さて、去る1月15日付で、旧野方配水塔（通称「水道タンク」）が、貴職ほか皆様のご尽力により、国の登録文化財となりました。

地域のランドマークとして永く愛されて来た、故中島鋭二設計のこの特異な建造物が、中野区のみならず、東京都そして日本にとって極めて貴重な近代化遺産であり、再現し得ない文化的価値を持つこと、そのような景観資産がまちづくりにとって重要な礎であること等が、広く顕彰された次第ですので、当協会にとっても これに勝る喜びはありません。

特に、私どもからは、1998年9月30日に、貴区に登録文化財として頂くよう、要望書をお届けした経緯があり、それから11年半あまりの今ようやく、これが実現に至り、当協会としても感謝の念に堪えません。

ここに改めて御礼申し上げますとともに、今後とも、この文化財が中野のランドマークとして愛され続け、そして まちづくりの触媒としてその意義を発揮できますよう、貴区にさらなるご配慮を お願い申し上げますところ です。

当協会といたしましても、今回の登録を機会に、この旧野方配水塔の文化的な意義を広く一般の方々に理解して頂けるような企画を、検討してまいります。 つきましては、その際には種々ご協力を賜れば幸甚に存じます。

まずは略儀ながら御礼まで。

敬白